

 評価のポイント

CL-Ⅱ.専門性の開発能力

〔3-2〕医療を受けるこどもと遊び 2（医療と遊びのつながり）

① 医療の中に遊びがあることのメリットを 3 つ挙げてください

① 医療の中に遊びがあることのメリットは、不安や恐怖心の軽減、治療に主体的に対処する促し（勇気づけ）、自制心や自立心を取り戻すこと、家族の関係を維持強化することなどに役立つ（スライド 6 参照）

② 痛みを構成する 3 要素を説明してください

② 痛みを構成する 3 要素は、感覚、経験、気持ち、です。「痛いと言ったところには痛みがある」と考え、こどもと接する必要があります。

③ 「支える花」の活動に挑戦してみてください

③ 想像の世界に入り（遊びの世界）、過去に自分自身の遊んだ経験を思い出すことができること。また、その経験から、遊びの重要性を感覚的に思い出し、病児のおかれている環境の課題を想像することができるのが理想です。

④「病気のこどもにこそ遊びが必要」という考えを説明してください

④ 病気になると病児とその家族の生活は一変します。環境や日常が変化し、ときには痛みをともない治療が始まります。遊びは強いストレス下にいる子どもの生活をノーマルなものにする効果があります。また、遊ぶことによって恐怖や不安を軽減し安心して自分の考えを表出する手助けにもなります。